



令和5年3月10日

発行：篠ノ井東中学校

文責：教務(両角)



☎380-8003 長野市篠ノ井小森 840 番地 TEL 026-292-0135 FAX 026-292-0637 Web サイト更新中

「令和4年度 長野市 学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました  
～生徒、保護者、学校評議運営委員、  
それぞれのお立場よりいただいた、評価とご意見を大事に受け止めてまいります～

## 【学校生活の基本】に関わるアンケート項目について

保護者の方より「楽しい学校生活」「自分で成し遂げる態度の育成」「マナー・ルールを守る態度の育成」「活動指針に沿った部活動運営」について肯定的な評価を多くいただきました。生徒及び教職員においても全ての質問項目で肯定的な評価を維持していることから3者共に「学校生活の基本が整っている」と感じていることが分かります。

この背景には、保護者の皆様力強いご支援はもとより、「あいさつ運動・みがき隊・グリーンアワー等の奉仕活動」「本校独自のノーチャイムDAY」「定期的な縦割り清掃」等で生徒会が主体となり、生徒の願いを学校生活に反映させていく取組が実を結んできたことがあると考えます。更に、本年度は感染警戒レベルが下がった時期に合わせて「地下道清掃」を3年ぶりに復活させ、地域への感謝を示す活動を位置づけることもできました。

「学校生活の基本」に係る評価は年々向上しています。今後も、生徒の願いから始まる活動や、生徒と職員とが知恵を出し合いながら創り上げていくことを大事にし、生徒にとって明るく、楽しく、安心できる校風を一層整えていきたいと考えます。



## 【安全・安心な教育環境】に関わるアンケート項目について

生徒では「他者を尊重する態度」「安心な学校」の2項目で肯定的評価が向上しました。保護者では「いじめ防止への取組」の肯定的評価が初めて8割を超えたと共に、「相談事への適切な対応」も8割近くにまで向上しました。このことから、3者共に「生徒が安心して学校生活を送る環境が整ってきた」と感じていることが分かります。

この背景には、アンケートを活用した教育相談の実施はもとより、学級担任・教科担任・部活動顧問等、多くの職員で生徒を見守ったり、保護者からの相談事に迅速に対応したりすることに努めてきたことがあると考えます。また、本年度は登校支援コーディネーターが中心となり「校内支援会議」を定期的で開催してきました。スクールカウンセラーやソーシャルスクールワーカー等の外部機関の力を借りながら早期対応に努めることで、その子に応じた居

場所ができた生徒もいます。更に、本年度も学級の実態に応じた「学級人権宣言」を制定する活動を位置づけたことで、互いの考えにふれながら自己の人権感覚を見つめ直し、他者を尊重する態度を育成することにもつながってきていると考えます。

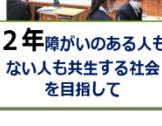
中学生の時期は、未熟さ故、相手を深く傷つけてしまうことや、スピーディな解決が難しい問題が生じることもあります。今後も生徒一人一人に寄り添う対応に努めると共に、本校の教育活動全体を通じて安全・安心な教育環境に努めていきたいと考えます。

### 人権学習での学びを活かした「学級独自の人権宣言」の制定

**1年人権カルタ**  
日常生活における  
人権意識を高めるために

**2年障がいのある人も  
ない人も共生する社会  
を目指して**

**3年差別を許さない、  
見逃さない1人1人を目指して**



一年四組学級人権宣言  
一年四組は  
人を傷つけない  
差別しない  
人の意見を尊重する  
みんな仲良く  
いじめや差別をなくし  
みんな一人一人と仲良く  
認め合おう  
個人の意見は  
悪口を言わず  
尊重する  
一、いじめや差別  
二、協力あう  
三人の個性を認め合う  
四、差別なし  
五、仲間はずしはなし

## 【保護者・地域との連携】に関わるアンケート項目について

保護者の方より「学校外部との連携・協働」に対しては課題をいただきました。この背景には、本年度も参観日や文化祭等の学校行事において、保護者や地域の方の参観を制限せざるを得なかったことがあると考えます。

その一方で、2年「職場体験」3年「地域高校による進路講話」では、地元企業や施設等から最大限の協力を得て、規模を縮小しながらも実施することができました。また、1年「職場訪問」では、地元企業の方を講師に迎えて13講座を開講することで、感染警戒レベルが高い状況下であっても代替実施することができました。更に、1・2年では、生徒が学んだ成果を地元企業や公共施設の方々に発進する「ポスターセッション」を新たな試みとして実施し、キャリア教育の充実にもつながりました。生徒の「楽しみにしている行事」の評価の向上からも、地域と連携・協働したこれらの行事が、貴重な学びの場となっていることが伺えます。

本校の教育活動を支えてくださる家庭や地域の方々へ改めて感謝を申し上げますと共に、「afterコロナ」への移行期において、学校として何ができるのかを、引き続き検討してまいります。

## 【学力向上への取組】に関わるアンケート項目について

保護者の方より「主体的な授業」「協働的な授業」について肯定的な評価を多くいただきました。生徒及び教職員からも「ICTを効果的に活用した授業」について肯定的な評価を多く受けました。

これは、今年度「主体的・対話的で深い学びを目指した授業の実現」を研究テーマに、様々な生徒への支援のあり方を探りながら、日々の授業改善に取り組んできたことによる成果と考えます。本校では「生徒の主体的・対話的な学び」を目指すために、一人一台端末Chromebookの積極的な活用を心がけています。ネット検索や映像資料の視聴



はもちろん、クラウド(Classroom)を用いた「学習カード等の同時共同編集」を活用することで、考えの可視化や共有化ができ、自身の見方・考え方を深めたり、広げたりする生徒も増えてきました。

今後も、生徒の実態把握に基づく個に応じた支援を大事にしたり、一人一台端末Chromebookの利活用を進めたりすることで、「それぞれの生徒に適した学び」や「対話や協働しながら深めていく学び」の実現に努めていきたいと考えます。

### 日々の授業改善・ICTの利活用



## 【全体を通じて】

学校関係者評価委員会より「生徒・教職員と保護者の評価にズレが少なくなってきており、信頼関係が構築されてきている」「学校長が示す各学期のキーワードを大事に、生徒の願いを教育活動に反映させる地道な取組が実を結んできている」との評価をいただきました。合わせて、「afterコロナへの移行期における家庭・地域との連携のあり方について更なる検討をしてほしい」との要望をいただきました。

多くのアンケート項目で肯定的評価の割合が向上していることを励みにしながら、「やや不十分」「不十分」と評価をいただいた部分について真摯に受け止め、アンケート結果の数値には表れない「生徒や保護者の思いや願い」を少しでも汲み取ることができるよう、引き続き、学級担任はもとより、教科担任や部活動顧問等、多くの職員で生徒を見守ることや保護者からの相談事に対応することに努めてまいりたいと考えます。引き続き、ご心配なことがございましたら学校職員までご連絡いただければ幸いです。

近況は、学校ホームページで更新中！ 「月暦」「学校通知」等も掲載しておりますのでご活用ください